

海老名市立今泉中学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年11月17日(金) 13:40~15:20
- 2 場所 海老名市立今泉中学校 図書室
- 3 出席委員 今井大輔委員長 栗山明郎委員 樋口るり子委員 碓井雅巳委員
平井千恵子委員 宮下良雄委員 石田佳奈委員、山川勇委員
河野康委員 麻生伊都子委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

山川校長：台風のため延期になっていた修学旅行は、夏休み明けすぐに実施することができた。いろいろな熱中症対策を行いながら、有意義な修学旅行にすることができた。その後、二大行事である合唱祭と体育祭を実施した。特に体育祭では、3年生が中心となって1・2年生を引っ張り、生徒達が生き生きと発表する姿を委員の皆様にご覧いただくことができて良かった。今後ともよろしく申し上げます。

～質問・意見なし～

(2) 授業参観

全委員が全校の授業の様子を見学した。

(3) 学校の現状

河野教頭より学校の現状について説明。

意見交換

栗山委員：授業を参観して、寝ている子が少なく、楽しそうに活動できていた。数学の少人数での授業はとても良い。塾なんていく必要はないように思う。

樋口委員：数学の少人数はよい。学校に通えていない生徒は増えているのか。

河野教頭：本校にもいるが、それほど増えてはいない。

樋口委員：必要なことがあれば協力したい。

3年生の進路は、変わっていくのか。

碓井委員：進路に関して、学校が果たす役割は変わってきているのか。昔に比べて学校の意向は反映されないのだろう。塾に行っていないと実力がわからない部分もあるのか。

麻生教諭：学校でも模擬試験は行っているし、個人で申し込むこともできるので、塾に行っていなくても、実力を知る手段はある。

宮下委員：高等学校に入って、途中でやめてしまう生徒もいますか。

麻生教諭：数人はいますが、それぞれ編入などしています。

平井委員：1年生は生き生きしていた。2年生は落ち着いていて、3年生は心地よい感じだった。体育祭も一人ひとりが一生懸命で、良い感じ、良い顔して活動していた。

石田委員：1年生は元気。2年生は落ち着いていた。3年生は試験も終わり、ちょっと緩んでいるのか、和気あいあいと授業を受けていた。

今井委員長：PTAのアンケート結果を見たが、これからのPTAはどうやって運営していくのか心配である。今泉小がボランティア制になったから、だんだん縮小されていくのではないか。

栗山委員：仕事のやり方を変えていくべき。PTAの活動を通じて卒業後もつながっていき、地域を見守っていくことが大切である。

樋口委員：上星小はPTA活動している。働いている人でもできるPTAの役割を考えていくことが必要。

今井委員長：保護者と地域の情報が途絶えてしまうのが心配である。

山川校長：昨年度の部活動は今年度も継続できた。少しずつ地域移行はしている。

(4) 学校行事開催の報告

山川校長より行事での生徒の様子を伝える。合唱祭について、今年は招待することができなかったが、次年度は招待する方向で検討している。

合唱祭の3年生の2曲をビデオ視聴。

議事終了

(5) その他

次回の、学校運営協議会は、令和6年3月18日（月）13：40から開催予定。